

標 題： Virgin Olive Oil Study (VOLOS): vasoprotective potential of extra virgin olive oil in mildly dyslipidemic patients
バージンオリーブ油研究(VOLOS)：軽度脂質異常症患者における
エクストラバージンオリーブ油が血管を保護する可能性

著 者： F. Visioli, et al. (イタリア ミラノ大学 薬理学部)

掲 載 誌： Eur. J. Nutr. 44: 121-127 (2005)

要 旨：

背 景： In vitro で、オリーブのフェノールは強力な抗酸化性および酵素調節活性を
発揮する。

研究の目的： 軽度脂質異常症患者で、エクストラバージンオリーブ油が血管を保護する可能性を
我々は比較的に評価する。

方 法： 22 人の患者にクロスオーバー法で、エクストラバージンオリーブ油 (フェノールが
豊富)または精製オリーブ油 (フェノールが少ない)(EVOO または ROO、ほぼ
同等な脂肪酸組成)を 40mL/日投与した。

各処置を 7 週間実施し、間に 4 週間のウォッシュアウトがあった。

血漿抗酸化能力、血清トロンボキサン B₂(TXB₂)生成、および尿のイソプロス
タン排泄を、心臓を保護する可能性および血管機能の代理マーカーとして評価
した。

結 果： 血漿の脂質/リポタンパク組成に対する影響は観察されなかった。

引き替えに、エクストラバージンオリーブ油の摂取は循環血液マーカーに対する良い
影響と関連した。

つまりエクストラバージンオリーブ油を両方の群に投与したときに、血清 TXB₂生成
の低下および血漿抗酸化能力の上昇が観察された。

どちらの投与もイソプロスタン排泄に対して有意な影響はなかった。

結 論： 軽度脂質異常症患者によるエクストラバージンオリーブ油の摂取は心臓血管系状態
に対する循環血液マーカーの好ましい変化と関連する。

現在の知識に基づいて、これらの影響は血管保護と関連する可能性がある。

キーワード： アテローム性動脈硬化、抗酸化物、冠状動脈性疾患、フリーラジカル、
オリーブ油、イソプロスタン
